

第69期 経営道フォーラム 研究・提言発表会

Zoom参加お申込みはコチラから
<https://survey.zohopublic.com/zs/bvCsJv>

経営道フォーラム 研究・提言内容

[1] 12:40

CL(顧客信頼)マネジメントから新しい経営原理の提言

みんなのいい 『ファン・ファン経営(FUN×FAN)』のすゝめ

SASABATI's
Next

瀬本 博一
コーディネーター

企業を取り巻く経営環境は、ライフスタイルの変化、グローバル化、産業構造の変化、デジタル革命、コロナショックにより厳しい局面を迎えている。日本企業は、かつての成功モデルから脱却できず、事業成長やイノベーションに大きな課題を抱え、持続的なイノベーションの創出に苦慮している。一方、CLマネジメントに成功している企業は、熟意ある社員が顧客(FAN)との絆を創り、安定した業績と持続的なイノベーションを実現している。

我々は、社員が楽しみながら顧客と新しい価値を創造し続ける新たな経営モデルを『ファン・ファン経営(FUN×FAN)』と名付け、その原理と実践方法を提言する。

東海東京証券 株式会社
ニチバン 株式会社
株式会社 アドバンテスト
株式会社 マーメイドベーカリーパートナーズ
株式会社 ファンケル
東急 株式会社
株式会社 キューソー流通システム
昭和電線ケーブルシステム 株式会社

[2] 13:50

自社流イノベーティブ人材の育成とコンサバティブ行動との共創

「トルネード式触発モデル」による人材育成と社内触発を通じた意識改革

猪志士

瀬本 博一
コーディネーター

サステナブル企業を目指すためにはイノベーションを引き起こす人材の育成と人材を活かす企業風土や組織、仕組み作りが重要である。実際に仕組みを動かすのは人であり、社内にいる「イノベーティブな人材」を効果的に活かすための「仕組み」を構築し取り入れていく事が企業の事業継続に不可欠な活動である。そして、イノベーティブな人材育成の対象を「次代を担う世代」にフォーカスし、「創発活動の手助け」をするとともに、事業上不可欠なコンサバティブ行動との共創による社内意識改革にも両輪で取り組むべきであると考える。本研究では次代を担う世代からイノベーティブ人材の原石を見つけ出し、社内で人材育成と創発活動を活性化させるためのモデルと実践的手法について提言する。

東海東京証券 株式会社
常盤化学工業 株式会社
農林中央金庫
株式会社 メタルワン
株式会社 ラック
キューピー 株式会社
株式会社 熊谷組

[3] 15:00

これからの時代を生き抜く創発組織のつくりかた

いーね!
(Ene)

岡本 正耿
コーディネーター

変化が激しく将来予測が困難な現代社会における企業経営は、外部環境や内部資源の現状を正確に分析した結果に基づいて処方箋を描く「計画的戦略」だけでは不十分である。これからの中社会に対応するには、現場の経験や思考錯誤の結果として自然発生的にパターン化されて出来上がってくる「創発戦略」を取り入れることが必要である。しかしながら、コロナ禍により、職場でのコミュニケーション、労働時間の使い方等が変化しており、創発を実践することはますます難しくなっている。

我がチームは、Withコロナを踏まえたこれからの時代においても創発を生み出せる「個人・組織・マネジメント」のあり方と実践について提言する。

東洋製罐グループホールディングス 株式会社
ハウスウェルネスフーズ 株式会社
東海東京フィナンシャル・ホールディングス 株式会社
住友生命保険 相互会社
レンゴー 株式会社
株式会社 明治
ヤマト運輸 株式会社

[4] 16:15

経済性と社会性の両立のために

○○経営に至るまで

しゃもん会

大月 博司
コーディネーター

90年代後半以降の日本企業では、投資や人件費といった支出に慎重になっており、加速する不確実性の高まりが経済全体の委縮に繋がっている。このため日本は他の先進国と比較して経済成長率において明らかに劣っていると言わざるをえない。この状態から脱却するために、日本企業にはどのような取り組みが求められるのか。我々は、「企業は社会の機関であり、その目的は社会にある」という基本原則に改めて立ち返り、強い信念と理念を持って経済性と社会性を両立させる企業の価値創造を実現するための新しい経営を示します。

ニチバン 株式会社
カゴメ 株式会社
株式会社 エル・ティー・エス
日本ゼオン 株式会社
三菱HCキャピタル 株式会社
三井住友信託銀行 株式会社
鉄建建設 株式会社
株式会社 エクサ

[5] 17:25

バッヂ来い! 幸福道

大月 博司
コーディネーター

越境学習による「個のダイバーシティ」の強化と実践

「認知的」ダイバーシティを通じた組織のイノベーション力の向上

ダイバーシティが社会や企業の潮流となって久しい。企業における管理職の男女比はダイバーシティの指標として用いられるが、ダイバーシティの推進は直接企業のイノベーション力や競争力の向上につながっているのだろうか。当チームでは、これからの経営者が対境にさらに貢献していくために取るべき戦略として、組織のイノベーション力の向上に資するダイバーシティについて討議・考察した。そして、組織のイノベーション力の向上に資するダイバーシティを真に推進する施策として越境学習に着目した。我々は、越境学習を実践する関係者へのインタビューを通じて、越境学習の効果の検証を行うとともに、ダイバーシティを活かす組織マネジメントへの変革を提言する。

オリックス銀行 株式会社
株式会社 荏原製作所
株式会社 東急コミュニケーションズ
株式会社 エスワイプロモーション
矢作建設工業 株式会社
株式会社 りそな銀行
積水ハウス 株式会社
日本アイ・ビー・エム 株式会社

開催概要

■日 時 2021年11月29日(月) 12:30~18:45

■参加方式 経営道フォーラム
第69期生・第70期生

浅草ビューホテル
3F 祥雲

東京都台東区西浅草3-17-1
TEL.03-3847-1111
<https://www.viewhotels.co.jp/asakusa/>

派遣元企業・一般
KAE会員

Zoom参加

下記URLより1名ずつお申込みください。
お申込み後、接続IDを1名ずつに
ご案内します。

Zoom参加お申込みはコチラから
<https://survey.zohopublic.com/zs/bvCsJv>

スケジュール

12:30	開会:ご挨拶
12:40	SASABATI's Next 質疑応答 受講生一言コメント
13:50	猪志士 質疑応答 受講生一言コメント
15:00	いーね! (Ene) 質疑応答 受講生一言コメント
16:05	休憩
16:15	しゃもん会 質疑応答 受講生一言コメント
17:25	バッヂ来い! 幸福道 質疑応答 受講生一言コメント
18:45	閉会:ご挨拶

コーディネーター

■テーマ
CS(顧客満足)経営から
CL(顧客信頼)経営への変革、
変化対応力を高め企業革新を常態化する
経営に関する内容



株式会社 C E S
代表取締役
瀬本 博一氏

■テーマ
インサイト志向への経営革新、
創発組織と組織の創発的変革に
関する内容



株式会社
マーケティングプロモーションセンター
代表取締役
岡本 正耿 氏

■テーマ
経済性と社会性のジレンマを越えた
価値創造の事業・経営、
業績向上に資する組織力・チーム力の
創出に関する内容



早稲田大学商学学術院
教授
大月 博司 氏

30年に渡り中小企業300社の再生・改革を実現した国内ターンアラウンド・コンサルタントの第一人者。「人そして再生」をコンセプトに経営者を含む人の意識変革と行動変容を通じた組織改革を通して企業が持つ潜在能力を引き出しながら、既存のビジネスモデルからの脱皮、新ビジネスモデルの創造を通して中小企業の再生を実現してきた。主要著書:『御社だけのビジネスモデルを創りなさい』カナリア書房(2005年)、『CLマネジメントの時代』東方通信社(2012年)、他多数。15年以上にわたり月刊誌『コロナプラス』に中小企業の再生事例を連載中。

早稲田大学大学院客員教授、同大学ビジネススクール講師。前日本経営品質賞制度検討委員会委員長。日本能率協会マネジメントスクール専任講師。秋田県・岩手県・千葉県・三重県・茨城県・埼玉県・新潟県経営品質協議会の各判定委員長、中国地方経営品質賞委員会副委員長、会津若松市経営品質賞委員会委員長。主要著書:『要点解説マーケティング実務入門』生産性出版(2009年)、他多数。